長聖ゼミ　スリーキーワード　６年生　社会　４月(日本の始まり～飛鳥時代)

解答

次の言葉を説明しましょう!

名前：

１．縄文時代

３つのキーワード

・①〔 たて穴式住居 〕……約１万年前から紀元前 4～3 世紀まで続いた縄文時代の人々の住居と言われている。

・②〔 磨製石器 〕……縄文時代の人々は〔②〕を使って、狩りや漁・採集を行い、食料を得ていた。貝がらなどは現在では貝塚と呼ばれる場所に捨てていた。

・③〔 縄文土器 〕……この時期に作られていた土器を〔③〕という。〔③〕は黒ずんでいて厚く、もろいという性質がある。また、まじないや願かけのために土偶も作られていた。

答え：約１万年前から紀元前 4～3 世紀まで続いたと考えられている。人々はたて穴式住居に住み、磨製石器を使って狩りや漁、採集を行って食料を得ていたとされる。貝がらなどは現在では貝塚と呼ばれる場所に貝殻などを捨てていた。この時期に作られていた縄文土器は黒ずんでいて厚く、もろいという性質がある。また、まじないや願かけのために土偶を作っていた。

２．弥生時代

３つのキーワード

・①〔 稲作 〕……紀元前 4～3 世紀から紀元 3 世紀頃まで続いたと考えられる弥生時代には、〔①〕が広く行われた。〔①〕には田げた、石包丁、木製のくわやすきといった道具が使われていた。

・②〔 高床の倉庫 〕……収穫した稲穂は〔②〕にたくわえられた。このころから貧富の差や身分の違いがはっきりしてきたと考えられている。

・③〔 金属器 〕……大陸から〔③〕が伝わってきて、銅剣や銅たくといった青銅器や鉄器も使われるようになった。この時期に作られていた弥生土器はうすくてかたい。

答え：紀元前 4～3 世紀から紀元 3 世紀頃まで。稲作が広く行われるようになり、田げた、石包丁、木製のくわやすきといった道具が使われていた。収穫した稲穂は高床の倉庫にたくわえられ、貧富の差や身分の違いがはっきりしてきたと考えられている。また、金属器が大陸から伝わってきて、銅剣や銅たくといった青銅器や鉄器も使われるようになった。この時期に作られていた弥生土器はうすくてかたい。

３．弥生時代のくに

３つのキーワード

・①〔　　奴国　　〕……力の強いむらが弱い村を支配して大きくなり、くにが出来ていった。それらのくにの一つ〔①〕は漢(中国)に使いを送り、「漢委奴国王」と書かれた金印をさずかった。

・②〔　邪馬台国　〕……〔②〕の女王〔③〕は魏に使いを送り、皇帝から織物や銅鏡などとともに「親魏倭王」の称号をさずけられた。
③〔　卑弥呼　〕

答え：力の強いむらが弱いむらを支配して大きくなりくにが出来ていった。それらのくにの１つ奴国は漢(中国)に使いを送り、「漢委奴国王」と書かれた金印をさずかった。また、邪馬台国の女王卑弥呼は魏に使いを送り、皇帝から織物や銅鏡などとともに、「親魏倭王」の称号をさずけられた。

４．古墳時代

３つのキーワード

・①〔　大和朝廷　〕……古墳時代には大和地方の豪族達が大王(おおきみ)を中心として〔③〕を作っていた。

・②〔　　古墳　　〕……大王や豪族の墓として作られたと言われている。代表的なものは前方後円墳の大仙〔②〕。

・③〔　はにわ　〕……〔②〕の上や周りに置かれた。家や船をかたどったものや円筒形のものがある。

答え：このころには大和地方の豪族達が大王を中心として大和朝廷を作っていた。この大王や豪族の墓として古墳が作られるようになったとされる。代表的なものとして前方後円墳の大仙古墳が挙げられる。古墳の上や周りには家や船をかたどったものや円筒形のはにわが並べられた。

５．飛鳥時代

３つのキーワード

・①〔　聖徳太子　〕……推古天皇の甥(おい)である〔①〕が摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。

・②〔　遣隋使　〕……中国の文化などを学ぶため、小野妹子らを派遣した。

・③〔　大化の改新　〕……645 年に中大兄皇子や中臣鎌足らは天皇中心の国家を作るため公地・公民を進め、班田収授法を定めた。

答え：推古天皇の甥（おい）である聖徳太子が摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。また中国の文化などを学ぶため小野妹子らを遣隋使として派遣した。645 年に中大兄皇子や中臣鎌足らは天皇中心の国家を作るため公地・公民を進め、班田収授法を定めた。これらを大化の改新という。